

なぜなケアプランセンター



「認知症の人の非言語メッセージを見落とさない」研修に参加した。認知症の人は自分の思いを言葉にして相手に伝えられなくなるが、実は身振り・表情・態度などの非言語で訴えているという。話は、聞く(hear)だけでなく、聴く(listen: 傾聴・心を傾けて聴く)ことが重要で、まず、認知症の人の尊厳を大事にしながら心を傾けて話を聴き、そして認知症の人が発する非言語メッセージに気づき・理解していくのだ。うわべだけの対応なら、すぐに見抜かれてしまう。この研修で、認知症の人の支援は奥が深いと考えさせられた。

共生の里ヘルプステーション



躁うつ病で1年以上入院していた利用者のケースが再開した。入院中に引っ越しがあって、帰ってきた時は「家にいても何をしたらいいのかわからない…」と戸惑っていた。訪問介護はヘルパーと一緒にいるのが目的なのですが、それは無理強いせず、不安な気持ちや色々な話を親身に聞くようにした。次第に笑顔になり、調理の時は野菜を切ってくれ、洗濯機も回すようになった。ちょっとしたことで鬱症状が出ることもあるので、細心の注意払いながら、一緒に楽しく家事をし、もう入院することのないように支援している。

誕生日に寄せて

甘い物が大好きです。仕事はバスガイドを経て、デパートのお菓子売り場で働きました。お菓子売り場で、こっそりつまみ食べたことを笑顔で「告白」してくれました。バスガイドでは地方を周り、忙しかったが楽しく仕事が出来たと言います。車中で「(東京ではなく)徳島のバスガール♪」と歌い、お客さんを笑わせるのが得意でした。今は有料老人ホームで生活され、デイやホームの職員がとても親切にしてくれるそうです。

